

令和5年度 授業改善推進プラン 算数科

1 「大田区学習効果測定」結果の分析

○どの学年も、単元によって目標値を上回っている単元と下回っている単元との差が大きい。

- ・ 4年生は、「たし算、ひき算、かけ算、わり算」の計算問題が目標値に達していない。
- ・ 5年生は、「小数、分数」の仕組みや読み取りの問題が目標値に達していない。
- ・ 6年生は、「最小公倍数や6枚のカードを使って9000に近い奇数を作る」の問題が目標値に達していない。

2 課題点

- ・ 個々の児童の苦手とする領域・観点別に特化した学習を行うことに課題がある。
- ・ 既習事項を含め、反復学習を行うことに課題がある。
- ・ 数の概念や計算方法を正確に理解して問題を解くことに課題がある。

3 授業改善策

<反復学習の重視>

- ① 補習の時間に、個々の児童に対して、観点別に特化した課題を提示し取り組ませていく。
- ② 朝学習や授業開始等の時間で、既習事項を確認したりミニテストを繰り返し取り組ませたりする。
- ③ 家庭と連携し、宿題や家庭学習で計算練習に取り組むように促していく。
- ④ 補習の時間に、必要に応じて数の概念や計算方法について確認し、個人で問題演習に取り組めるようにする。